

新幸組に県知事表彰

県優良建設業者等表彰

部長表彰には丸良建設

【那覇支社】県農林水産部(長嶺豊部長)の2020年度優良建設業者等表彰式が9日、県庁で行われ、優秀な成績で工事を完成させた優良建設業者に新幸組(平良西里、新里明美代表)、優秀な施工管理を行った優良技術者として同社主任技術者の砂川博昭常務が

知事表彰を受けた。部長表彰では、丸良建設(平良西里、仲宗根、平良正樹代表)と同社監理技術者の池間典生さんが受賞した。

新幸組は、更竹地区ほ場整備工事(R1-1)で、建設従事者教育の講習・実技訓練の実施や熱中症対策キットの配布、働きやすい環境づくりで快適な仮設トイレを導入して観光客と地域住民にも開放したことなどが評価された。

新里代表は「知事表彰は初めて。高い評価をいただき、うれしい。亡き夫の跡を継ぎ、砂川さんをはじめ従業員と一丸となって頑張ったおかげ。地域や関係者の皆さんに感謝したい。この賞を励みに、従業員一丸となってまい進していきたい」と感想を語った。

また、砂川常務は「受賞は従業員、地域の皆さんの理解と協力のおかげ。この賞を励みに、安全第一をモットーに技術に磨きを掛け、品質向上に努めて地域に貢献したい」と、受賞を喜んだ。

丸良建設は、西中底原地区畑地かんがい施設工事(R1-2)で、着工前に地元住民に周知と協力の依頼を行ってコミュニケーションを深めたほか、見通しの悪い交差点にカーブミラーを設置して事故の未然防止を図ったことなどが認められた。

平良代表は「職場環境の改善や職員の健康管理等の取り組みも評価されたのではないかと。技術者の高齢化など課題はあるが、この受賞を励みに、社員と一致団結し会社や建設業界の発展のために頑張っていきたい」と意欲を見せた。

沖縄県農林水産部優良建設業者表彰式



表彰式後、受賞の喜びを見せる(左から)砂川常務、新里代表、平良代表、池間さん=9日、県庁

表彰式で、長嶺部長は技

術者の高齢化や若年入職者の減少等の課題に加え、新型コロナウイルスへの対応も生じる中、優れた成績で工事を完了した受賞者たちを、課題解決に向けて皆さんの力添えが必要不可欠。引き続き農林水産業の基盤整備事業への協力をお願いする」と呼び掛けた。